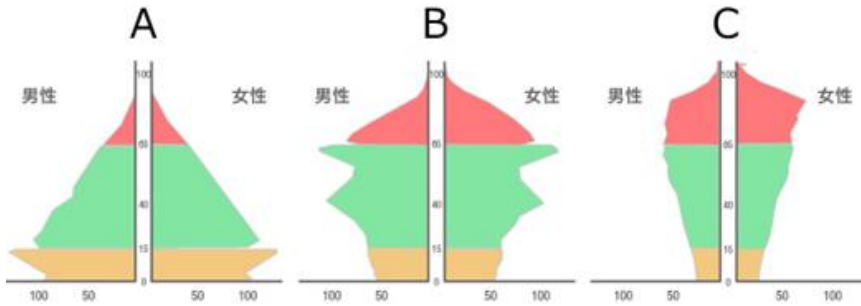


(1) 2020年、日本の人口は約[6500万人 / 1億3千万人]である。



(2) 上の人口ピラミッドにおいて、Aは[① つりがね型 / 富士山型 / つぼ型]、Bは[② つりがね型 / 富士山型 / つぼ型]、Cは[③ つりがね型 / 富士山型 / つぼ型]である。少子高齢化が進んでいる先進国に多いのは[④ A / B / C]であり、発展途上国に多いのは[⑤ A / B / C]である。よって現在の日本に近いのは[⑥ A / B / C]である。

(3) 1980年代半ばから1990年代前半にかけて都心部の人口が減少し、郊外の人口が増加した。これを[① 現象]という。これはバブル経済の中、土地の値段が上昇し、郊外の[②]などに住む人が増えたためである。2000年以降は土地の値段も下がり、都心部の人口は再び増加した。これを[③]という。

(4) 大阪大都市圏、名古屋大都市圏、東京大都市圏をまとめて[①]という。人口が集中し[②]の問題が起きている。反対に人口が減り過ぎる地域では[③]が問題となっている。

(1)	(2)①	(2)②
(2)③	(2)④	(2)⑤
(2)⑥	(3)①	(3)②
(3)③	(4)①	(4)②
(4)③		